

富士の恵みの理想郷

富士地域の農林業施策を紹介します



目次

富士地域の概要		p 1
富士地域の農業と林業		p 1
魅力ある農林産物		p 2
具体的な取組内容		p 3 ~ 8



富士地域の概要



・立地条件

海拔0メートル地帯から富士山頂まで3,776メートルの標高差を有し、富士山、愛鷹山を背に南西に広がる緩やかな傾斜地と、海岸線から8キロメートル以内の範囲に広がる平坦地で占められ、地質は肥沃となっています。

・気候条件

平均気温は、観測地点のある南部平坦地域では15.6℃、北部丘陵地域では南部平坦地と比較して約5度低いと推測されます。年間平均降水量は2,000～2,500ミリで、温暖多雨地域から冷涼多雨地域にまたがっています。

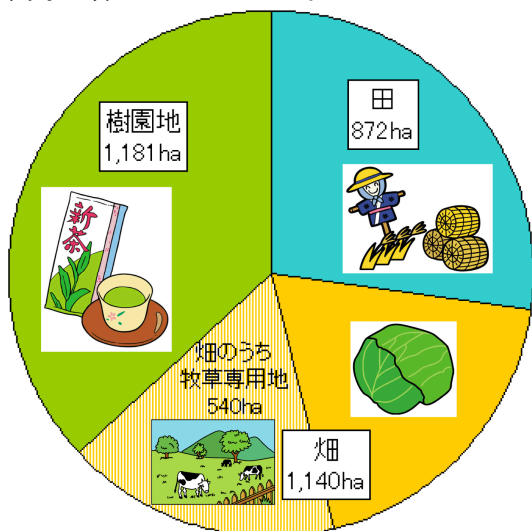
・交通、運輸条件

陸上輸送は、東海道新幹線、東海道本線、身延線及び岳南鉄道、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、国道139号線、同西富士バイパスなどの幹線道路、海運の拠点である田子の浦港があり、地域産業の発展を支えています。

富士地域の農業と林業

■富士地域の耕地面積は5,160haで全県比の8.7%となっています。また、北部丘陵地には全県牧草専用地の約3/4を占める一大草地酪農地帯が形成されており、田畑を含め優良農地が広がっています。令和4年の農業産出額は318億円(全県比14.9%)で、作目別には畜産の220億円を筆頭に、野菜、米、茶、果実の順となっています。

■富士山麓の緩傾斜地に広がる森林面積37,491haのうち、民有林の人工林面積は22,320ha、人工林率は78%です。また、人工林のうち46年生以上の利用可能な林齢の森林が約90%に達しています。林業・木材団体等では、地域で産出されるヒノキの「富士ひのき」産地化を目指して生産しています。管内の山林用苗木の生産は、全国的に有名で県内生産量の41.6%を占める主要生産地となっています。



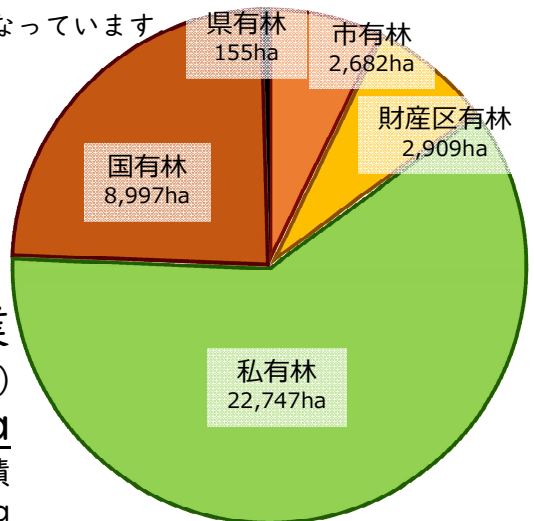
農業経営体における経営耕地の状況
(2020年農林業センサス)

農業

耕地面積(R5)
5,160ha
田：1,412ha
畑：3,750ha

林業

森林面積(R6)
37,491ha
民有人工林面積
22,320ha



森林資源

(令和6年度静岡県森林・林業統計要覧)



富士山西麓に広がる人工林



岩本山の茶園から望む新東名高速道路と富士山

富士地域の特産品のご紹介



落花生

魅力ある農林産物



富士山西麓に広がる水田



みかん



キウイ



お米



牛肉・豚肉・鶏肉



いちご



梨

具体的な取組内容

～農業の生産性向上と環境負荷軽減の推進～

■意欲的な農業者への農地集積と農地の有効利用

優良農地の維持と生産コスト削減を図るため、農地中間管理事業や基盤整備による担い手への農地集積・集約化や園地改良を進めています。また、市・農業委員会・農協との連携により、地域計画の策定と荒廃農地の発生防止・利活用を推進しています。

さらに、作業効率の高い農業を展開するため、区画整理や農道、水利施設の整備を行っています。



富士宮市猪之頭の
基盤整備



地権者説明会



大規模養鶏場

■経営体の競争力強化

畜産地帯では、産出額増を目指して施設整備・自給飼料の生産拡大・畜産産地のブランド化を進めています。

茶業経営では、需要が見込まれる有機栽培茶やドリンク用原料茶生産などに取り組むとともに、茶の補完作物の導入を推進して、農家所得の改善を目指しています。

■耕畜連携の推進

家畜排せつ物に伴う環境問題が、畜産規模拡大の阻害要因となっている一方、肥料価格の高騰や有機茶の需要拡大を背景に、堆肥による土づくりが注目されています。

そこで、畜産・茶農家や関係機関で構成する協議会活動を通じて、堆肥利用の啓発を行うとともに、畜産農家と茶農家の連携による堆肥の流通方法等に関する意見交換の場を設け、堆肥のペレット化や設備・機械導入など、堆肥の利用拡大に向けた具体的な取組を支援しています。



実証ほにおける牛糞堆肥の機械散布



具体的な取組内容

～次代を担う農業経営体の育成・マーケティング戦略の推進～

■技術の開発と普及

ドローンによる農薬散布等のスマート農業や県オリジナル品種等優良品種の導入等、高度な技術の普及を進め、付加価値の高い高品質な農畜産物の生産と生産コストの低減を支援しています。施設園芸では、収量や品質を高めるため、温度、湿度、二酸化炭素濃度などの管理・制御する高度環境制御機器の導入を推進しています。



ドローンによる農薬散布の実演会



経営支援セミナーの開催

■人材の確保とビジネス経営体の育成

経営感覚に優れたビジネス経営体の確保・育成に向け、コンサルティング活動や専門家派遣、経営支援セミナーを開催しています。

また、就農希望者の相談業務や各種支援制度の活用により、独立就農や農業法人等への就職など新規就農の取組を支援しています。

市場のニーズに合致した新規作物導入の推進のための講習会を開催するなど、技術面での支援も行っています。

■地域食材を活用した商品開発の推進

生産者と「ふじのくに食の都づくり仕事人」を結びつけ、新たな付加価値を創出し、食材と食文化の情報を発信することにより、農業者の所得向上を通じた農業振興を図っています。

生産者と仕事人のマッチング、消費者との交流を行い、特産の「ほうじ茶」や「梨」を活かした新商品・新メニューが開発されています。



生産者とシェフを交えたレストランイベント

具体的な取組内容

美しく活力のある農山村の創造

■地域協働活動の強化

高齢化・混住化等により、農村環境を守る集落機能の低下が危惧されています。また、共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の保全管理に対する担い手農家の負担増加も懸念されています。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行う「ふじのくに美農里プロジェクト(多面的機能支払交付金制度)」を推進します。



ふじのくに美農里プロジェクト（富士東部地区）

■企業と農村の協働

静岡県では、美しい景観と、県土の保全・水源のかん養など多面的機能を持つ農山村地域の活性化を図るため、多様な主体の参画による農山村づくりを推進しています。

近年、地域社会への貢献に関心の高い企業が増えて一方、過疎化や高齢化が進む農山村では農業の生産活動の維持に向けて新たなパートナーを求めています。農山村と企業、双方にメリットのある協働活動を目指す「一社一村しずおか運動」に取り組んでいます。



天子ヶ岳における日本大学生との芋定植活動

■鳥獣被害対策の推進

富士地域では、ニホンジカを中心として鳥獣被害が多く発生していることから、富士地域鳥獣被害対策連絡会を開催し、総合的な被害防止対策を推進しています。

また、市鳥獣被害防止対策協議会の活動を支援し、地域が一体となって対策に取り組むための住民参加型研修会を開催するほか、捕獲した獣肉の食肉としての利用拡大を進めています。



住民参加型の電気柵設置研修会



具体的な取組内容

美しく活力のある農山村の創造 つづき

■農山村環境の整備・管理

担い手農家が農業経営をしやすい農地整備等を進めるとともに、農村地域に住みやすい生活基盤整備を進め、農村地域の営農活動・地域振興の活性化を進めます。

また、県民の暮らしを守る機能を強化するため、洪水、湛水を未然に防止する施設整備・管理を進めます。富士農林事務所では、芝川下流の農地を守るため、大倉川農地防災ダムの施設管理・操作を行っています。



農村活性化施設「富士山縄文の里大鹿館」

■地域資源を活用した

農村コミュニティの活性化

富士地域の自然、伝統文化や富士山を中心とした景観等の恵まれた農山村フィールドと人材を活用し、新たに利益を生みだしたり、地域住民が交流したりする場の整備に係る支援を行っています。

創造した場で国内外からの来訪者に対する農業体験や自然体験等の観光コンテンツ等の提供を進め、農村コミュニティの活性化を図ります。



「茶の間」の設置

■ふれあいの場としての農山村の活用

多様なニーズに対応した市民農園や学校で農業体験活動を行う体験農園などの開設とその運営を支援しています。

他にも、農業分野での障害のある人の就農を支援する「農福連携」の取組を進めています。

また、ふじのくに美農里プロジェクトでは、地域子どもたちへの食育活動や農村の伝統文化の継承のため、農作物の植付け、収穫作業の場を提供しています。



地域の児童による田植風景（富士宮市）

具体的な取組内容

県産材の供給能力の向上

昭和31年から34年にかけて、県の重要事業の一つとして実施した、富士山麓林業開発事業を契機に、ヒノキを主体とした人工林が造成されました。

現在では、その多くの森林が利用時期に達しています。

充実した森林資源を活用するため、施業の集約化と作業の機械化による木材の安定供給体制の整備を図るとともに流通改革、製材加工体制の充実に取り組んでいます。

■安定供給体制の構築

林業労働力確保の促進に関する法律に基づく経営意欲の高い林業事業体を林業事業主として認定し、事業の合理化や雇用管理の改善を支援しています。また、木材生産の効率化や低コスト化を図るため、林道等の基盤整備と作業の機械化を進めています。



林内作業と輸送・流通の効率化を担う林道整備
(富士宮市・林道天子ヶ岳線)



高性能林業機械(ハーベスタ)の
導入(富士宮市)

■人材の育成及び確保

林業への就業を求める人や労働力確保を検討する雇用主に対して、就業説明会の情報等の提供や業務委託により雇用機会を創出することにより、林業従事者の確保・育成を図っています。また、林業従事者の技術向上に対して、国県の実施する研修制度の情報を提供するとともに、技術者登録制度への登録を進めています。



林業従事者に対する技術研修
(緑の雇用事業)

■流通改革の促進

製材工場の求めに応じて、迅速に樹種・径・長さを選別できる設備の導入、はい積作業の機械化等により原木市場の効率化や低コスト化を支援しています。また、原木の取引は、入札制度に加えて、相対取引や大型製材工場等との協定取引の導入により、市場を経由しない山土場渡しなどの検討を通じて、流通の合理化や定時定量の出荷体制の構築を支援しています。



原木市場の再編整備
(富士木材センターに導入された選別機)



具体的な取組内容

県産材の需要拡大

平成25年度に、富士地区林業振興対策協議会(以下「林対協」)は、富士山の環境保全に貢献し、世界文化遺産の価値を高めることにつながる新ブランド「FUJI HINOKI MADE」(以下「FHM」)を創設しました。

FHM材の販路拡大のため、平成29年7月には「フジヒノキメイド有限責任事業組合」(以下「LLP」)が設立されました。

県では、住宅を建築する県民に、県産材の家づくり支援制度を活用して、建築費の助成をするとともに、公共施設などへの県産材活用を進めるため、県産材利用推進富士地域連絡会を開催して、県産材の活用事例等の情報交換を進めています。



(有)まるいチップ工業 フジヒノキメイド工場

森林の保全

治山工事により台風、地震などによる山崩れや、溪流の土砂流出等の災害から県民の生命・財産を守り、災害に強く安全で暮らしやすい県土づくりに努めています。

快適で健全な県民生活に欠かせない水源等、特に重要な森林は保安林に指定し、森林の持つ公益的機能が十分に発揮されるよう適正な管理をしています。また、林地開発許可制度により、森林の大切な働きを無秩序な開発から守っています。



台風後の河川氾状況（富士宮市）



流路を固定し乱流を防止する



塩害等の被害を受けた松林（富士市）



8 抵抗性クロマツを植栽し、松林の回復を図る